



～超音波検査について～ Ver.1

超音波検査とは人の耳では聞くことの出来ない高い周波数の音波(超音波)を用いて体内の病変の有無を調べる検査です。

腹部、心臓、頸動脈、下肢静脈などがあります。



～腹部超音波検査～

- ・肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓の検査です。脂肪肝や癌などがわかります。
- ・体への影響はなく、20分程度の検査です。
- ・脂肪肝は放っておくと肝臓の機能悪化や肝硬変、肝臓がんなどの深刻な病気に進展することがあります。

肝臓がん



肝臓がんの5年生存率は39%とされています。(国立がんセンターホームページより)早期発見、早期治療が大切です。

～心臓超音波検査～

- ・心臓エコー検査は、心臓の動きや大きさを、痛みを伴うことなく簡単に調べられる検査です。
- ・検査時間は約25分です。
- ・弁膜症や心筋虚血の有無について調べる検査です。
- ・心筋虚血は胸が痛い・重苦しい感じ、肩が痛い、動くとき胸が苦しいなどの症状が出ます。

心筋梗塞

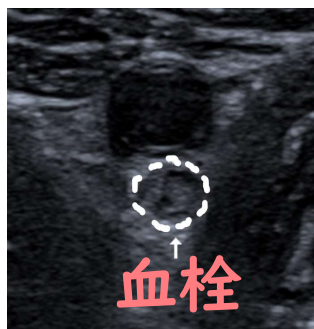


心筋梗塞の心臓です。心臓の壁(心筋)が薄くなり、収縮が悪くなっています。また、瘤になり拡大しています。症状がなくても心筋梗塞を起こしている場合があります。

～下肢静脈超音波検査～

- ・主に足の静脈に血の塊(血栓)が出来ていないかを調べる検査です。(深部静脈血栓症)
- ・検査時間は約30分です
- ・下肢に血栓ができると…足のむくみ・腫れ・痛み、足の色の变化などの症状や変化が起こります。

深部静脈血栓症



深部静脈血栓症は、足から心臓へと血液を戻す血管に血の塊ができて詰まってしまう病気です。重症化すると血栓が血流によって肺に飛んで肺塞栓症になる可能性があります。



*上記の様な症状などがありましたら、担当医にご相談下さい。

*湯河原病院では、患者さまが安心して検査が受けられるよう、最新の知識と技術を修得し良質で信頼される検査を提供します。

